

# 医科連携や地域への視点強調

## 各地区で総会 方針・役員決める

尾地 八尾・柏原・東大阪・東柏

### 地域の医療行政 改善を目指す

#### 記念講演 病診連携

東大阪・八尾・柏原地区は総会を3月17日、八尾市内で開いた。総会では、活動のまとめと方針、決算と予算案を承認し、地区役員・評議員を選出した。地区責任者に中山興之氏を再任した。活動方針は、医科協

会など連携を強めて地域医療行政の改善、地域住民の健康保持と医院活性化へ向けた健診・健康教室に取り組みることのほか、講習会の日程などを確認した。

中山氏は、「東大阪・八尾の乳幼児医療費助成制度の対象年齢は低く、歯の治療に必要な年齢に

### 北大阪地区

#### 役員体制などを確認

#### 記念講演 硬組織の再生

北大阪地区は総会を3月18日、豊中市内で開き、平川光彦地区責任者が地区活動の報告と予算案、

次年度役員などを報告提

をテーマに、自院の病診連携や診療内容を紹介した。

病院歯科の役割として、入院管理を要する疾患、外来小手術、腫瘍・粘膜炎、外傷などの処置がある

と述べ、スライドで症例を解説した。入院患者の口腔ケア等が入院期間の短縮に寄与するとして、「患者のため、症状が悪化する前に早めの紹介をお願いしたい」と締め括った。

米田氏は、大阪大学大学院歯学研究科が、歯学研究科単独として唯一21世紀COEプログラムに採択され、そのプログラムにおいて歯科医学研究の発展、歯科医療の進歩に貢献していくための研究プロジェクトを推進している

と述べた。その中で、最も力を結集しているのが歯と骨を含む硬組織の再生プロジェクトである。歯槽骨の再生については動物実験で成功しており、4〜5年先には臨床応用されるという見通しを示した。米田氏の骨の知識についての講演は分かりやすく、今後の研究プロジェクトに対して大いなる期待を抱かせるものであった。(吹田・平川光彦)

### 堺・高石・和泉地区

#### 住民・患者との対話を進める

#### 記念講演 口腔軟組織疾患

堺・高石・和泉地区は3月24日、堺市内で総会を開き、活動のまとめと方針、予算案を承認し、地区役員・評議員を選出した。地区責任者に下井戸昭介氏を再任した。また、泉

州地区(進)と共催でりんくう総合医療センター歯科口腔外科部長の大前政利氏を招き、「口腔内軟組織疾患の診断と処置」をテーマに記念講演を開いた。25人が参加した。

総会では、診療報酬の不合理是正を求めて堺・泉州方面から6人が上京した取り組みや、乳幼児の医療費助成拡充で岸和田・泉南・阪南各市が対象年齢を1歳引き上げたことなどを報告。新年度は、

日常診療経験交流会への積極的な参加や「よりよく食べるはよりよく生きる」パンフレットを活用した住民健診・健康教室の開催など、医科歯科連携や住民・患者との対話を進めることを確認した。記念講演では、大前氏が口腔粘膜疾患を①白色病変②発疹③隆起性病変④形態表面異常⑤感覚・神経異常⑥潰瘍・びらん⑦着色——に分類し病変の特徴と対処法を詳しく解説した。また、感染性心内膜炎予防で口腔外科での処置が望ましいというケースを紹介しながら、口腔外科との連携を訴えた。

## ビスホスホネート系薬剤投与中 患者における歯科処置について

大阪大学歯学部付属病院 口腔外科1(制御系) 大倉正也准教授

骨粗鬆症の治療薬として知られているビスホスホネート系薬剤(BP系薬剤)の副作用として、顎骨壊死・顎骨骨髄炎の発現が報告されている。多くは癌患者に投与されているが、骨粗鬆症の患者にも経口投与されている場合もある。歯科医院での抜歯など局所感染に伴う処置には、注意いただきたい。投薬中の患者における歯科処置について、大阪大学歯学部付属病院口腔外科の大倉正也准教授に解説いただいた。

ビスホスホネート(BP系薬剤)は骨吸収抑制剤で、日本では1994年悪性腫瘍による高カルシウム血症の治療薬として発売され、04年11月に乳癌の溶骨性骨転移への適応が承認され、05年には固形骨転移による骨病変にも承認され、投与

患者数は急速に増大しました。この結果、市販後調査により、05年9月の段階で、2037例の投与患者に対して14例の顎骨壊死を含む顎関連事象の発現が認められました。海外でも02〜04年に投与された290万人中61万人と推定されている骨

粗鬆症患者に、一般的な内科のクリニックで処方されるようになりまし。これらの錠剤は注射薬よりは容量は少ないものの、海外では同様の副作用が稀に報告されています。そして大阪でも1例の顎骨壊死が見られました。抜歯処置からの発症ではなく、歯槽膿漏から骨壊死でした。

国内で販売されているBP系薬剤一覧

製品名	適応症	製造販売
アレディア	悪性腫瘍による高カルシウム血症 乳癌の溶骨性骨転移	ノバルティスファーマ
オンクラスト テイロック ビスフォナール	悪性腫瘍による高カルシウム血症	万有薬品 帝人ファーマ アステラス製薬
ゾメタ	悪性腫瘍による高カルシウム血症 多発性骨髄腫による骨病変 固形癌骨転移による骨病変	ノバルティスファーマ
タイドロネル	骨粗鬆症 骨ペーゲンジェット病 背髄損傷後、股関節形成術後における異所性骨化の抑制	大日本住友製薬
サマック フォナクト フォアクト	骨粗鬆症	万有薬品 帝人ファーマ 武田薬品工業

厚生労働省は06年12月に経口剤でも稀に起こることを発表し、BP系薬剤投与を受けている場合には、①抜歯等の侵襲的歯科処置はできるだけ避けてください②歯科処置が必要な場合、また、顎のしびれ・痛み・腫れ・骨の露出などの異常がある場合は、BP系薬剤を処方された医師にご相談ください③抜歯等の侵襲的治療を行った場合、治療後の患者のケアを十分に行ってください。直ちに歯科・口腔外

科に受診するよう注し、注意してください。この情報は、一度顎骨壊死が起ると、効果的な治療法が現在確立してはありませ。原因菌の同定は不可欠で、間欠的もしくは継続的抗生剤治療が有効となる場合があります。壊死組織を可及的に小さく範囲で実施し、血行不良の顎骨を血行のよい粘膜で覆うか保護床で防護すると効果的な場合

## 協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

電話 06-6568-7731  
ファクス 06-6568-0564

東西南地区総会・記念講演  
「本音で語る//今視ること、これから走る方向」  
日時 4月8日(日) 午前10時〜午後12時30分  
会場 保険医会館 定員 50人  
講師 吉永勉氏(生野区開業)  
会費 会員無料、未入会者1万円

4月度生涯研修  
「高齢者歯科医療マニュアル」  
日時 4月15日(日) 午前10時〜午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 田中義弘氏(神戸市立中央市民病院歯科部長)  
定員 100人  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※生涯研修カードをご持参ください

大阪府保険医協同組合第37回定期総代会・記念講演  
「21世紀の日本を洞察する 今、日本の政治に求められるもの」  
日時 5月12日(土) 午後2時40分〜4時10分  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 森田実氏(政治評論家)  
定員 100人  
会費 無料

第48回定期総会・記念講演  
「豊かな脳を育てる食脳学」  
日時 5月27日(日) 午後12時40分〜2時40分  
会場 三井アーバンホテル大阪ベイタワー(地下鉄中央線「弁天町」駅またはJR環状線「弁天町」駅から徒歩3分)  
定員 200人  
講師 大島清氏(京都大学名誉教授・生殖生理学専攻、医学博士)  
会費 会員無料、未入会者1万円  
※生涯研修カードをご持参ください

第3回日常診療経験交流会  
日時 6月10日(日) 午前9時30分〜午後4時  
会場 三井アーバンホテル大阪ベイタワー(地下鉄中央線「弁天町」駅またはJR環状線「弁天町」駅から徒歩3分)  
定員 200人  
内容 午前・分科会(午前9時30分〜11時30分) 午後・シンポジウム(午後1時〜4時)

未入会者とは、協会に加入することができる歯科医師です。協会の行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承くださ。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。  
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの愛称です。